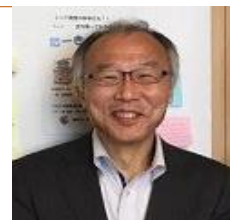


## ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報			
ふりがな	おくむら げん		
氏名	奥村 玄		
所属	株式会社GENプランニング		
役職	代表取締役		
活動エリア	宮崎県、熊本県、神戸市、横浜市、川崎市、世田谷区、杉並区、渋谷区、東京		
連絡先	住所	〒	
	電話番号	0422-26-6788	
	メールアドレス	gen-planning@world.ocn.ne.jp	
キャッチコピー	地域の課題解決を全力で支援します		
自己PR	<p>◆構想から実践に至るプロセス全体を見据えながら、多様な視点(コミュニティ活性化、中心市街地活性化、防災、公共施設計画、居場所づくりなど)でまちづくりを進めます。</p> <p>◆子どもから高齢者まで様々な世代の声を大切にしています。</p> <p>◆創造の端緒は発見にあります。様々な視点から物事を捉え、試行錯誤しながら地位の活性化に向けて、多くのみなさんの叡智を集めながら進めたいと考えています。</p> <p>◆市民参加のまちづくりにワークショップが導入された初期の段階から携わってきました。創造的なプロセス・プログラムを提案しながら取り組みます。</p>		
関連ホームページ	名称	アドレス	
	横浜市まちづくりコーディネーター	<a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/toshiseibi/suishin/sasaeru/co">https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/toshiseibi/suishin/sasaeru/co</a>	
2. 略歴・受賞歴			
略歴・受賞歴	<p>&lt;経歴&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世田谷区街づくり専門家・横浜市まちづくりコーディネーター・杉並区まちづくり専門アドバイザーなど</li> <li>・2024年～現在 杉並区まちづくり専門アドバイザー</li> <li>・2017年～現在 横浜市農業委員</li> <li>・2016年～2022年 千代田区まちづくりサポート審査会委員</li> <li>・2015年～2020年 横浜市地域まちづくり推進委員</li> <li>・2012年～現在 NPO法人日本冒険遊び場づくり協会(元監事)</li> <li>・2010年～現在 NPO法人横浜プランナーズネットワーク(元理事長)</li> <li>・2011年 総務省 地域力創造アドバイザー就任</li> <li>・2007年 ふるさと財団 地域再生マネージャー就任</li> <li>・2006年～2018年 神奈川大学非常勤講師(これからの市民参加)</li> <li>・1996年～2015年 早稲田大学芸術学校・早稲田大学講師(コミュニティデザイン・プロセスデザイン・ワークショップデザイン)</li> <li>・2006年 (一財)世田谷トラストまちづくり勤務 まちづくりセンター事業担当</li> <li>・2005年～現在 (株)GENプランニング設立 代表取締役</li> <li>・1984年～2022年 (株)農村・都市計画研究所設立に参加(取締役主任研究員)</li> <li>・1984年 東京工業大学農村計画学研究室研究生</li> <li>・1980年 東北大学工学部建築学科卒業</li> </ul> <p>&lt;受賞歴&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「飯田市りんご並木」・・・「手づくり郷土賞」受賞</li> <li>・「天王森泉公園」計画設計・・・横浜市「人・まち・デザイン賞」受賞</li> <li>・記録映画「ムカンが来た」(長屋門公園古民家再生の記録)プロデュース・・・「優秀映画作品賞」受賞</li> </ul>		
3. 取組分野			
観光	( )		
移住・定住・関係人口	( )		
農林水産業	( )		
起業支援	( )		
● まちなか再生	(中心市街地活性化計画策定および、公共施設計画策定などにおける住民会議の企画運営)		
● 集落再生	(地域コミュニティ再生、地域交通計画、地域の居場所づくり、多世代交流、見守り合いなどを軸とする地域活性化)		
環境	( )		
● その他	( 災害復興計画策定、防災計画 )		
4. ふるさと財団での実績			
外部専門家(活用助成)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆2010年度 和歌山県高野町 「楽しむ農業 富貴の里元気プロジェクト支援事業」</li> <li>◆2007年度～09年度 和歌山県高野町 「高野まちなか再生マネジメント事業」</li> </ul>		



## 5. 取組内容・実績

取組内容・実績	<p>【取組事例①】</p> <p>(1) 事業名 : 子どもの遊び場検討事業  (2) 対象地 : 宮崎県延岡市 家田地区  (3) 事業目的: 住民参加による地域の自然環境を生かした子どもの遊び場づくり</p> <p>(4) 事業内容: 家田地区は北川の本流と家田川(支流)との合流点に位置し、度々農地が浸水被害に遭う歴史を持つ。しかし、平時は豊かな自然に恵まれた絶好の子どもの遊び場でもある。子どもたちの遊びの実態を調べると、それぞれの家が離れていることもあり、一度帰宅すると遊びに出ることもなく家でゲームをすることが習慣化していることや、子育て世代も自然に親しんだ経験が乏しく、フェンスに囲まれて遊具が置いてある公園が一番遊ばせやすいと考えている実態が分かってきた。  そこで、理屈ではなく実践で理解してもらうため、福岡から冒険遊び場のプレーリーダーを招聘し、ダイナミックで楽しい遊びの体験をしてもらった。いわば社会実験である。最初は参加者が少なかったものの、楽しい体験が友達を呼び、少しずつ参加者が増えていった。</p> <p>(5) 事業による成果:  毎年重ねた社会実験としての「遊び場体験」が実を結び、耕作放棄地が子どもたちの遊び場「のつる自然公園」として指定され、継続性のある取組みとなった。</p>
	<p>【取組事例②】</p> <p>(1) 事業名 : まちなか再生事業  (2) 対象地 : 和歌山県 高野町(全集落)  (3) 事業目的: 地域再生マネージャーと地域力創造アドバイザーの派遣事業を組み合わせ、多種多様な視点から周辺集落の活性化を図る</p> <p>(4) 事業内容: 集落住民への取材および懇談会を通じて各集落の魅力と問題点を抽出し、課題を設定し住民の主体的な活動を支援した。  「前近代が近代をこえる」をキーワードとして、地域の潜在的な力を発掘するような姿勢で取り組んだ  ①「やま里市」による再生: かつて農業を主体とした周辺集落から、100以上のお寺が建ち並ぶ中心集落へ生活物資を供給していた歴史に学び、農産物でつながる手法を検討し、イベント「ふきっ子市」から始まり、定期的に中心集落のスーパーへ卸したり、食堂の特色としてメニュー化を進めた。  ②「地域交通」の見直し: 周辺集落から中心集落への日常の交通手段となっているバスの運行を見直すため、地域住民との懇談会を重ねた。病院への通院のために多くの高齢者が利用している実態が分かったため、病院を予約制にして待ち時間の短縮を図り、それに合わせたダイヤを組むこととなった。  ③「日曜学校」の復活: 子どもたちに地域の魅力を伝えたり、一緒に遊ぶ機会を充実するため、高野山大学に協力を打診したところ、かつて毎週日曜学校を開催し、大学生が子どもたちに勉強を教えたり一緒に遊ぶなどしていたことが分かり、とんとん拍子で日曜学校の復活に漕ぎ着けることができた。  ④「大滝集落の再生」: 8戸13人の大滝集落にかつての賑わいを取り戻すためのプロセブプランニングを実施した。集落から都市部へ転出した人たちとお盆の時期に交流を深め、子どもたちに集落全員が差出人になり招待状を出し、集まる機会を設けるなどの活動を進める一方で、集落の暮らしを磨くために湧水周りのや集落の入口を花で魅了したり、名物の桜の花見を集落住民全員で楽しむなど、住民自身の暮らしの充実を図った。  ⑤以上のほか、町内の職人さんたちの紹介を小学生と大学生のコンビで進めたり、お寺をアートで盛り上げたいという地区の若者の支援、中心集落への通り道となっている花坂集落の民泊の仕組みをモニターを通じて作るなどの活動を支援した。</p> <p>(5) 事業による成果:  「やま里市」は現在も続く域の長い取り組みとなり、大滝集落へはリタイアした子ども世代が帰ってくるなど、取組みが定着している。</p>
	<p>【取組事例③】</p> <p>(1) 事業名 : 宮崎県広域連携ワーキング(行政職員による検討会の運営支援)  (2) 対象地 : 宮崎県 入郷地区  (3) 事業目的: 人口減少が進む中で、流域の自治体が連携することで地域活性化を目指す</p> <p>(4) 事業内容: 地域の9割が森林で占める地域において、森林資源の多面的な機能に着目して、関係人口の拡大につながる方策を、3町村合同で検討した。  地域の観光が地域の誇りを高めることにつながる道を模索した。世界農業遺産をフックとして、特産品の開発・販売を通じて「農家の幸せ」につながることを重要と考えた。そのため、地域の特色、長所についてきちんと捉え直し、農業の魅力の再発見とスマート農業による労力の軽減、多世代の関わりから活動の継続性を高めていくことを目標とした。  まず、森林の魅力、地域の個性を肌で感じながら再発見するために、コンバウトなサウナの拠点をあちこちに設け、地元の人たちが楽しみながらあちこち訪ねるキッカケとすることとなった。実は、参加町村がそれぞれサウナに着目していることがワーキングを通じて分かったため、取り組みに弾みがついた。</p> <p>(5) 事業による成果:  他町村に先駆け、椎葉村で「サウナデザインコンテスト」を実施した。</p>
<p>※上記以外の取組内容・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県地域づくり研修</li> <li>・宮崎県ひなら集落カレッジ</li> <li>・福島県いわき市久之浜防災緑地計画づくり市民会議コーディネーター</li> <li>・鎌倉市津波防災計画策定市民会議コーディネーター</li> <li>・草加児童センター基本構想策定プロジェクト企画運営</li> <li>・朝霞市「朝霞の森」運営会議コーディネーター</li> </ul>	